

福島町地域漁業振興経営多角化実証計画の概要

渡島総合振興局 水産課

計画概要

現状と課題

- ・福島町では、イカ資源の低迷や、クロマグロの資源管理措置により、漁獲量・金額とも著しく減少しており、マグロ、イカ漁業者は厳しい漁家経営を強いられている。
- ・漁業経営安定化を図るためには、これら回遊性魚種に依存しない、養殖業などを中心とした新たな産体制づくりが必要。
- ・地域の主要漁業であるコンブ養殖への新規参入にあたっては、養殖施設や資材購入のほか、乾燥機の導入、作業員の確保費等が大きな課題。

取組内容

■マグロ・イカ漁業(既存)とコンブ養殖の複合経営の実証事業

○マグロ・イカ漁業者を中心とした漁業者グループを組織し、既存漁業にコンブ養殖業を加えた新たな生産体制を構築し、漁業経営の維持、安定を図る。

R元年度補助事業	事業内容	・コンブ養殖施設 200m×10基 (事業主体:福島町) ・コンブ養殖資材 一式 (事業主体:福島・吉岡漁協)
	計画事業費	・13,343千円(養殖施設13,046千円、養殖資材297千円) (うち、道 6,064千円、町 7,116千円、漁協 163千円)

期待される効果

(1)コンブ養殖業の生産体制を整備

マグロ・イカ漁業者を中心としたグループがコンブ養殖へ新規参入して水揚増大

(2)設備導入・労力確保が不要な出荷体制

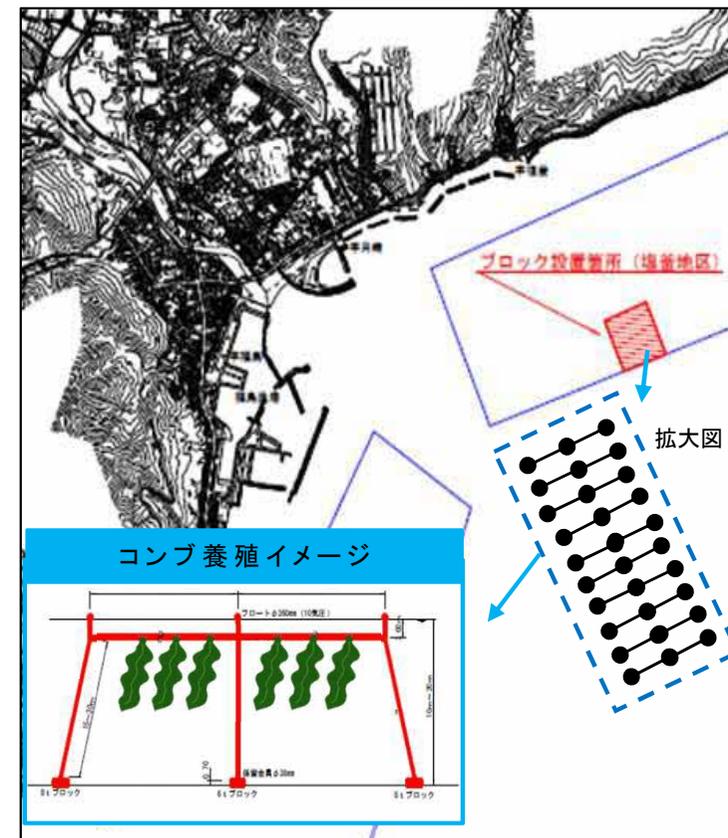
町内の大手総菜メーカー加工場へ生のまま出荷することで、乾燥作業や乾燥機等の導入、作業員の確保等を省略し、大幅な労力軽減及び経費削減

(3)大手民間企業と連携した流通対策

大手総菜メーカーへ加工原料として全量出荷することで、同社の販売網を活用して全国出荷

漁場等について

■福島町(塩釜沖)漁場位置図



■出荷体制・メーカー連携



コンブは生のまま出荷

民間加工場((株)北海シーウィード)にて一括加工